

吉村病院における勤務医負担軽減及び処遇の改善に対する体制計画

2024年4月

2024年度 勤務医状況 ※実績を集計次第、更新

1. 医師数 常勤 ●名 非常勤 ●名

<常勤医師内訳>

<非常勤医師内訳>

2. 他医療機関からの日当直支援回数 約30回/月

前年度までの取組及び今後の目標

当院では、勤務医師の負担軽減の計画として、これまで注力してきた医師事務作業補助者の配置、医師の増員は継続し、今後は特定行為看護などのタスクシフト等の推進を図る。また、文書作成効率化に向けたシステム導入を推進することで医師を含む全職種  
の負担軽減を目指す。

1. 医師事務作業補助者の増員
2. 常勤医師、非常勤医師の増員
3. 業務の見直し

項目	現状	2024年度目標	目標達成に必要な手順	達成状況
				2024年度
医師事務作業補助者の配置	5名配置	医師事務作業補助者5名配置	・適正配置、採用活動	
医師の人員不足	常勤医内訳を参照	整形外科医の増員 総合診療科等の幅広い対応をする医師増員 外科、麻酔科医の増員	・連携先医療機関への支援を要請 ・積極的な採用活動実施 ・可能な範囲で紹介会社も相談	
初診時の予診の実施	一部実施	継続	-	
静脈採血等の実施	実施済み	継続	-	
入院の説明の実施	外来看護師にて入院の説明を実施している。	入院時のオリエンテーションについて 医師事務が対応可能か検討	医師事務が受け取ることができるものがあるかどうかを確認する	
検査手順の説明の実施	実施済み	継続	-	
薬の説明や服薬の指導	実施済み	継続	-	
予定入院の検査オーダーについて	現在、患者が来院し、診察を行ってから検査オーダーを入れている。	必要な検査セットなど可能な範囲で定型化	入院予定の患者の把握 整形外科の検査セット検討	
特定行為看護師の活動	研修修了看護師が1名在籍	実績作りおよび今後の体制を検討	特定行為看護師の積極的活躍を支援	
退院サマリー入力	医師補助にて整形外科、外科の退院サマリー入力を実施	訪問診療だけでなく院内文書作成業務の効率化を目指し、文書作成支援システムを導入	文書作成支援システム(yahgee)導入	
在宅関連文書の対応	訪問診療の書類をどう対応していくか			
読影診断に関する負担軽減実施	読影医師1名での診断	レポート作成のための音声入力システム導入 AI機能を活用した読影診断サポート環境構築	音声入力システム(amivoice)導入 EX-mobile、SAIviewer導入	
当直翌日の業務内容に対する配慮	実施済み	継続	-	
交替勤務制・複数主治医制の実施	実施済み	継続	-	
連続当直を行わない勤務体制	実施済み	継続	-	
前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間の確保	実施済み	継続	-	
予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	実施済み	継続	-	